

経営比較分析表（令和元年度決算）

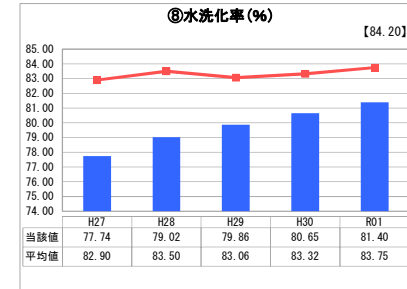
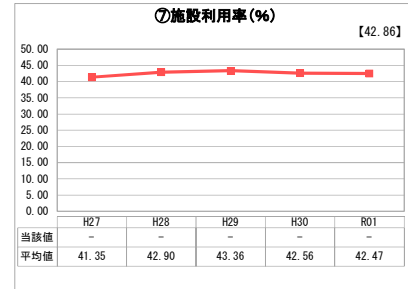
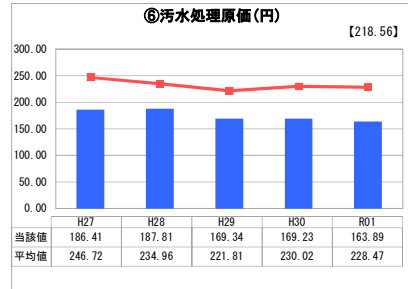
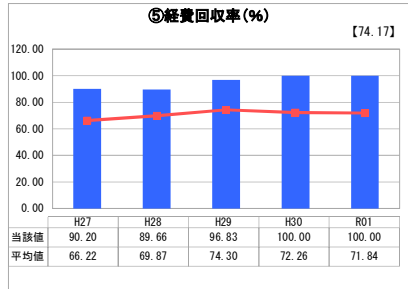
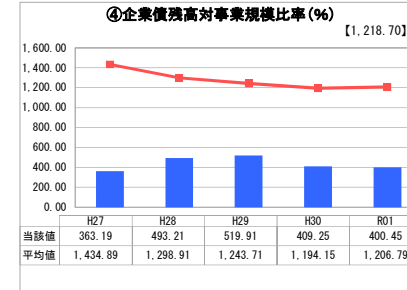
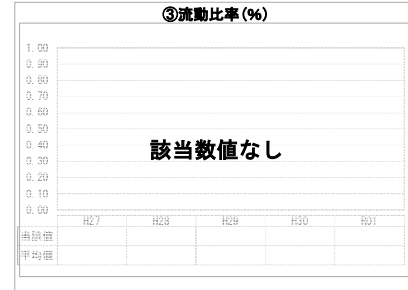
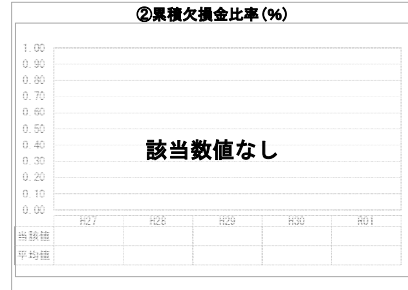
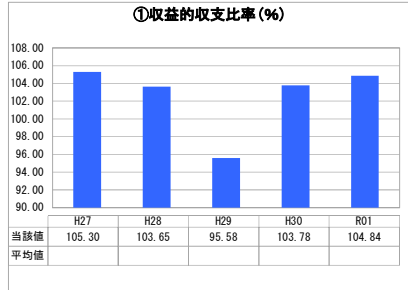
香川県 綾川町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家賃料(円)
-	該当数値なし	40.61	88.78	2,640

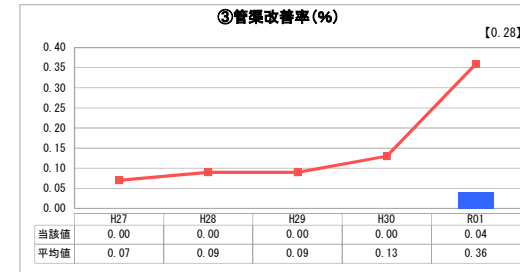
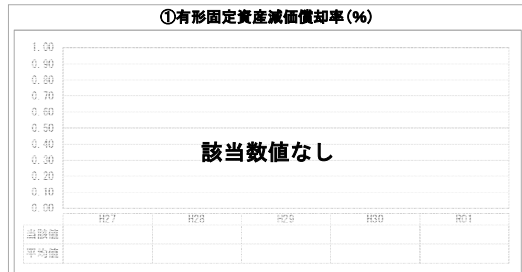
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
24,072	109.75	219.33
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
9,733	4.83	2,015.11

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

○収益的収支比率は、104.84%となりましたが使用料収入は漸減の傾向にあります。使用料については、平成20年の改定時において概ね10年間を見越した使用料を設定しており、企業会計への移行時期を見越して検討課題とする必要があります。

○企業債残高対事業規模比率は、都市需要に伴う管渠整備の投資が直ちにないことからほぼ横ばいで推移しています。

○汚水処理原価については、平成29年度の組織再編（下水道課を建設課に統合）による人件費の減による効果で縮減され、ほぼ横ばいで推移しています。

○流域関連特定環境保全公共下水道であり、施設利用率(%)の数値はありません。

○水洗化率は、全国平均を下回っており、未接続者リストを活用し、引き続き加入促進に努めます。

2. 老朽化の状況について

○管渠は法定耐用年数（50年）に対して経過年数が浅く、直ちに更新計画を定める状況にはありませんが、24か所のマンホールポンプ施設の適正な点検と修繕については、平成30年度において策定したストックマネジメント計画（簡易版）により逐次対応しています。令和元年度は、末端管渠で一部管のたわみが確認され、修繕を行いました。

<供用開始日>
平成12年6月（旧綾上町の区域）
平成11年5月（旧綾南町の区域）

全体総括

○平成28年度に策定した経営戦略（平成29年度～令和8年度）に基づき、下水道事業の抱えるヒト・モノ・カネの課題に対し「汚水処理事業の広域化・共同化」などの具体的な取組みを検討するとともに、令和6年度には公営企業会計へ移行を予定しており、今後の中長期的視点にたった下水道経営となるよう努めます。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。